

## 【I コリント人への手紙 13章】

「こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。そのなかで一番優れているのは愛です。」

(I コリント13:13)

孤独死、親の子への虐待、、悲しむべきニュースが流されています。どうしてこのような惨事が起こるのでしょうか。聖書には、「不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。」と書かれていますが、まさに今そのような時代です。

「愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることはありません。」(I コリント13:4~8) ここに記されている愛があれば、惨事が食い止められたでしょう。

このような愛はどこにあるのでしょうか？ 悲しいかな人間の中にはありません。神様は愛であり、その愛は無限で不変です。(Iヨハネ4:8、ヘブル13:8など) 私たちはこの愛の源である神様から、愛を受けなければ、私達の人生は愛なき悲しい人生となってしまいます。

神様はどんなにしてその愛を人間に与えられたでしょう。それは、ひとり子イエス・キリストをお与えになられたということです。

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私達に、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」(Iヨハネ4:9~10)

もし私たちが、何かとても大切にしているものを手放すとしたら、あなたの心は痛むでしょう。神は私たち人間に、その愛するひとり子をくださいました。神の愛は痛みを伴った犠牲の愛です。

神のみ思いを聞くということは、自分の考えを捨て、思いを新たにしなければなりません。全能の神は、私たちが知らないこと、思いもよらない愛のご計画を持っておられ、その為に私たちに思いを与え、祈りを与え、導いてくださいます。信仰によって神に近ずき、神の言葉を受けるなら、そこに真の希望があり、この希望は永遠に続きます。信仰も希望も、愛なる神様のご計画を全うするための手段とも言えるかもしれませんが。ですから、信仰より希望より、愛が一番優れていると言われています。

私たちはこの愛の源である神様から、毎朝愛を求め、愛に満たされて一日を始めましょう！愛の神様が語られる言葉を更に正確に聞き、従って行くことこそ、宣教第2章の歩みでしょう。

「あなたの神である主を愛せよ。」であり、「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」(マルコ12:29~31)です。また「神を愛するとは、神の命令を守ることです。」(Iヨハネ5:3)

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



# TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大衛

## SHILOAM

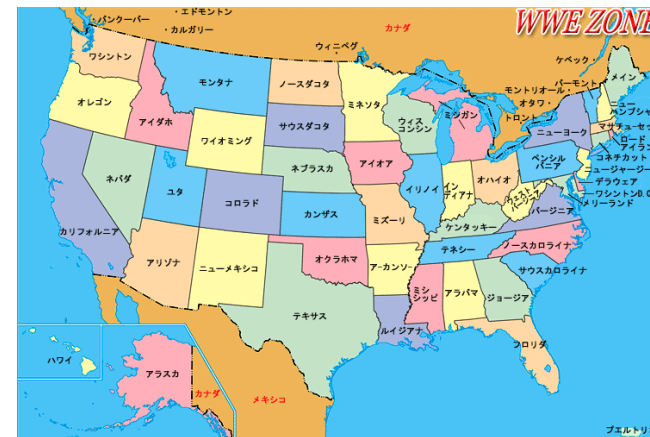
【シロアム：遣わされた者】

2012.3.18 No.675

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、  
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

教会はキリストのからだであり、  
いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の  
満ちておられるところです。エペソ1:23



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>